

第5回 市民まちづくり研究会 ～開催記録～

- 開催日 平成19年11月5日（月）
- 時 間 午後7時～午後9時
- 場 所 小牧市役所 大会議室
- 次 第
 1. 開 会
 2. 前回のおさらいと本日の予定
 3. グループ検討『テーマ別プロジェクトの提案②』
 4. 閉 会

- 出席者 委員：31名
事務局：5名（企画課 大野、林、鍛冶屋、舟橋、古田）
コンサルタント：2名（ランドブレイン株式会社 伊藤、佐治）

- 資 料 ・市民まちづくり研究会 第5回資料

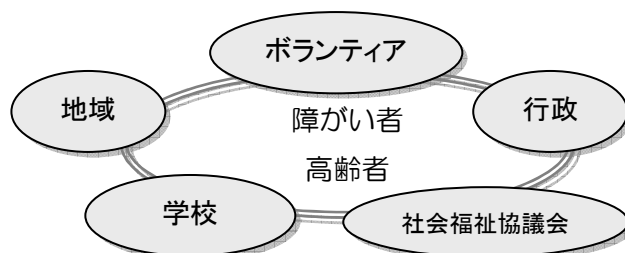
1. 開 会
2. 前回のおさらいと本日の予定
 - ・コンサルタントより「前回のおさらい」と「本日のグループ検討」について説明
3. グループ検討『テーマ別プロジェクトの提案②』
 - ・前回に引き続き、設定したプロジェクトごとに、「内容」「市民・行政の役割」「成果目標」等を検討した。（今回のプロジェクトの検討成果は次ページ以降のとおり。）
 - ・グループでの話し合いの成果を代表者が発表した。
4. 閉 会

1 障がい者・高齢者をひとりぼっちにしないプロジェクト

<目的>

社会から物理的・精神的に孤立しがちな現状から、制度の改善・充実や、認識を深めることによって、社会の一員としての連帯を強めるため。

<実施体制のイメージ>



●障がい者や高齢者の立場を「知る」

内容

- （仮称）モニター員制度の設立
（ボランティア、専門別、会議を重ねる。必要に応じて専門家を加える。）
- 学校での「福祉実践教室」の開催

市民の役割

情報の収集
行政へのアピール

教室に講師として参加する

行政の役割

情報の分析
市民への回答

教育委員会と社会福祉協議会の連携で教室を開く

成果

情報の共有による_____

福祉についての理解が深まる

すぐに取り組む

●障がい者や高齢者が動きやすい「環境をつくる」

内容

- ライフサポーター（地域生活のおたすけマン）
- 会員制・移送サービス

市民の役割

NPO法人（ボランティア募集・教育・コーディネート）

ボランティア参加

NPO法人の運営、運転 ボランティアへの登録

行政の役割

資金の提供

NPO法人への助成、バリアフリーのまちづくり

成果

利用者の安心感と地域の連携の深まり。子育て支援

低廉な料金により気軽に外出できるようになる

次の取り組み

●より開かれた社会を目指す

内容

- オンブズマン制度
（行政活動を調査し、市民からの苦情を処理する機関）

市民の役割

研究会を作る

行政の役割

啓発活動を行う

成果

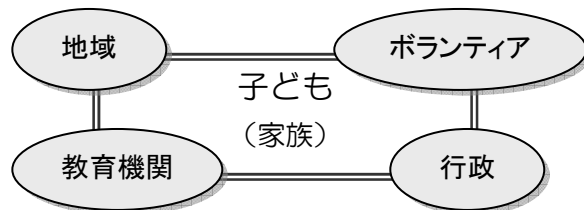
長期的な取り組み

2 次世代育成プロジェクト

<目的>

まちづくりのもとには人づくり、人づくりのもとには次世代育て。

<実施体制のイメージ>



すぐに行えること

● 地域と教育現場との連携を強化する

内容

- (仮称) モニター制度の設立
(ボランティア、専門別、会議を重ねる。必要に応じ専門家を加える。)
- 地域 3 あい事業の拡充
(次世代を重視する)
- 次世代育成コミュニティ協議会の設置
- 小牧版「子ども憲章」の制定

市民の役割

- 事業に積極的に参加する
- 地域団体(企業)として話し合いに参加する
- 憲章づくりに参加、実践方法を決める

行政の役割

- 指導・助言の強化
- 情報交流の場を設ける
- 教育の場で実践、家庭から地域に広める

成果

次の取り組み

内容

○

市民の役割

-
-
-

行政の役割

-
-
-

成果

連携
支援
連携

長期的な取り組み

● より開かれた社会を目指す

内容

- オンブズマン制度
(行政活動を調査し、市民からの苦情を処理する機関)

市民の役割

-
-
-

行政の役割

-
-
-

成果

連携
支援
連携

3 中心市街地活性化プロジェクト

<目的>

駅前を中心とした市街地に、にぎわいを取り戻す。

<実施体制のイメージ>

● (プランづくりと意識づけ)

内容

- 地産地消の“市”の設営 (一六市)
- イベント (屋内、屋外)
- 魅力ある施設 (食べ物街、物販、風呂)
- 文化施設の設置
- 交流・趣味
- 歴史と街並み、一里塚

市民の役割

文化に親しむ

青空市、イベントの実施と参加

一里塚の意識づけ

行政の役割

歴史の掘り起こし

商業施設の設置

ポイントの設置

連携

連携

連携

成果

すぐに取り組み

● (松田) 手法の検討、民活

内容

- 手法の検討 (PFI、特定業務代行)
- 駅から小牧山までの線の開発

市民の役割

行政の役割

連携

支援

連携

成果

次の取り組み

● (大野) 人の集まる公的施設の整備・運営

内容

- 公的施設でのにぎわい (図書館、シアター、文化会館)
- 運営
- 集客をめざした付帯設備
- 駅東の再開発
- ピーチライナー跡地の利用

市民の役割

行政の役割

連携

支援

連携

成果

長期的な取り組み

4 交通問題改善プロジェクト

<目的>

気軽に出かけられる交通網

<実施体制のイメージ>

● (井戸田) 交通網の見直し

内容

- 路線の見直し
- 矢印信号の設置
- 一里塚の意義づけ
- (歩行者・自転車) 樹木を目安

市民の役割

行政の役割

連携

支援

連携

成果

すぐに取り組み

● (落合) 歩車道、バスの整備

内容

- 歩車道の整備
- だれどこバスの運行開始
- 一里塚の設営
- 種類の設定 (観光と交通手段)

市民の役割

行政の役割

連携

支援

連携

成果

次の取り組み

● (長谷川) 気軽に出かけられるまち

内容

- 中心市街地への乗り入れ禁止
- 自転車の活用
- (産業構造維持のための) 東西路線 (一宮-小牧-春日井)

市民の役割

行政の役割

連携

支援

連携

成果

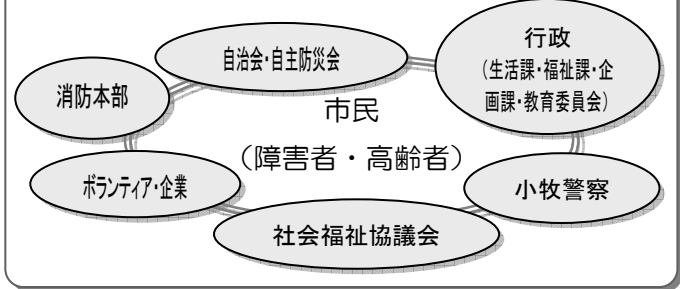
長期的な取り組み

5 だれもが安心して暮らせるまちづくりプロジェクト（防災、防犯、交通安全）

<目的>

子どもから高齢者まで市民だれもが安全で安心して暮らせるまちづくりを目指して、防災、防犯、地域福祉活動などを進め、明るい地域社会づくりに貢献することを目的とする。

<実施体制のイメージ>



●地域住民の“自助”意識を高める —自分でできることは自分です—

すぐに行えること

内容

- 地震発生シミュレーション（知識の取得）
- 耐震性に不安のある建物の検証
- 家具の転倒防止対策
- 非常持出品の確保
- 災害伝言ダイヤル171の周知

市民の役割

- ＜具体的なシミュレーション＞
知識を身につけるマニュアルの作成
勉強会、講習会の実施
- 耐震診断、家具固定、
施錠の励行(ワドアッロック)
火災報知器の設置
- 各家庭で万が一に備えて
話し合い、連絡方法・
避難場所の徹底

行政の役割

- 自治会の人材育成
取組状況の把握
- 消防本部による市民各
位の防災対策チェック
- 行政・災害ボランティアによる
市民に対する防災講習会・
会議を開く

成果

- 家庭内での対話が進み良好な相互信頼が高まる
- 家庭愛が深まり命の大切さを知り、協調性が向上する

●地域の“共助”意識を高める —日頃から地域で助け合う—

次の取り組み

内容

- 災害に備えて組織（自治会、自主防災会）で啓発活動を実施する
- 地域に根付いた地域ぐるみでの活動（自分の住むまちをみんなで見直す）

市民の役割

- 協議会に参画し諸行事（防災訓練、防犯パトロール、交通ボランティア）に進んで参加
- 災害弱者の実態把握
通学路の実態把握（危険箇所の点検、信号機の有無のチェック）
- 子ども、高齢者を巻き込んだ研修会
区長講話の実施

行政の役割

- 区、コミュニティに対し教育、指導、現状把握
広報活動（情報収集・提供）
- 集会施設の有効活用・提供
関連行政機関との調整
- 活動資金のバックアップ
防災・防犯・交通安全
教室の開催

成果

- 互助の協調性向上
- 一軒両隣付き合いが良くなり安心感の波及効果大
- 安全・安心なまちとなり地域力がつく

●公助・継続・定着

長期的な取り組み

内容

- 地域の防災・防犯・交通安全は息の長い活動
- 実施事項を継続して定着させる（本音の活動を定着させ継続して実施）
- 安心して歩くことができるまち（生活道路の整備・確保）

市民の役割

- 地域組織の強化、継続的な活動（駅伝システムによる後継者育成）
- 災害ボランティア・あいち防災リーダー会、防犯ボランティアの活動支援の定着化
- 危険箇所のリストアップ（車いすでも通れる歩道）

行政の役割

- 防災・防犯・交通安全活動支援（資金面）
- 制度化、仕組みづくり
企業との連携
近隣市町との連携
- AEDの設置
電気、電話線を地下埋設推進

成果

- だれもが（子どもから高齢者まで）まさしく安全・安心して暮らせるまちづくりとなる

6 町内会立て直しプロジェクト

<目的>

「住みよいまちは自分たちで創る」

<実施体制のイメージ>

●できるだけ多くの人に参加してもらう

内容

- 町内会への加入率の向上
- 日常の活動を開示する
- 役員の業務と責務を明確にする
- 町内会に対する住民の意見の収集

市民の役割

- 町内会の必要性を認識する
- 活動の企画、報告回覧の作成
- 住民へのアンケートの実施及び公開

行政の役割

- 地域の生活は地域で守ることの重要性を啓蒙
- 行政、町内会の活動範囲を市民に啓蒙
- 原案等の指導、援助

連携

支援

支援

成果

活動がわかってくる

すぐに取り組むこと

●継続して参加できる環境をつくる

内容

- 若い住民・外国人・新住民の参加
- 必要経費の支出
- 隣接区との横のつながり(学校単位)

市民の役割

- 活動の目的を明確に伝える慣例にとられない
- 会則、規定の確立
- 情報交換の場を設ける

行政の役割

- 通訳ボランティアの派遣
- 助成金の見直し
- 地域リーダーの育成・指導、場所の提供

連携

支援

連携

成果

自主的に参加する人が増える

次の取り組み

●いろいろな人に役割をもってもらおう

内容

- 元気な高齢者・退職者を活用する
- 関連組織との連携
- 自主自立の地域コミュニティの確立

市民の役割

- 常設専門委員会の設置
- 情報の共有、連絡網の整備
- 協調のとれた明るい町内

行政の役割

- 専門的知識の指導、研修会の開催
- ネットワークの構築
- 住民参加の行政

連携

支援

連携

成果

町内会が組織として確立する

長期的な取り組み

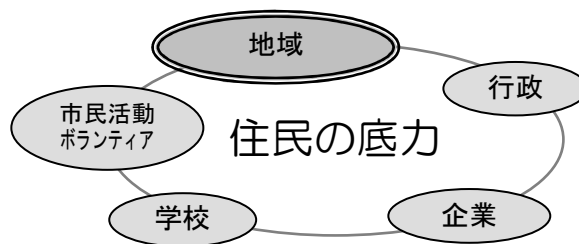
7

(環境を守る美しいまちづくり) プロジェクト

<目的>

環境宣言にふさわしいまちづくり。
気持ちよく生活ができ、誇れるまち。

<実施体制のイメージ>



●みんなで美化活動

内容

- 徹底したゴミの分別
- 小学校、中学校「ゴミ教室」と地域指導（外国人指導）
- 地域の清掃活動

市民の役割

- ・正しい分別
- ・ゴミ集積所の清掃
- ・市民またはボランティア、市民活動団体が講師として協力
- ・地域の530運動（年2回）
- ・地域清掃隊（楽しいグループ）

行政の役割

- ・資源ゴミのPRと指導
- ・イベントでPRコーナー
- ・講師の派遣
- ・講座の企画
- ・国際交流協会で開催
- ・企業に協力要請
- ・こまき530運動の日の設定
- ・ポイ捨て運動のPR
- ・ゴミレンジャーズでPR

成果

- 地域内の美化
- 地域内の交流
- ゴミ分別知識の向上
- 子どもの育成

すぐに取り組み

●ゴミが資源になる

内容

- 新エネルギーの活用と省エネ、省ゴミ、非電化製品の普及
- まちのグリーン化
- 生ゴミの資源化促進

市民の役割

- 新エネルギー等の活用
- 地域清掃隊が清掃をかねて環境調査とPR（グリーンマップ）
- ・生ゴミをたい肥化して野菜づくり
- ・市民の講師協力

行政の役割

- 新エネルギー等のPRと補助
- PR（広報活動）
- 環境政策の作成
- ・休耕田の活用で市民農園
- ・市民への野菜づくり指導

成果

- 市の収入UPと税金減額化
- 農地の有効利用
- 市民の食育

次の取り組み

●持続可能な社会

内容

- ゴミのエネルギーシステムの構築
- 自然の保全
- 農業と里山の活性化

市民の役割

- バイオエネルギーの活用
- 里山手入れの手伝い
- 里山の工芸づくり
- 耕作者の募集

行政の役割

- バイオエネルギーの活用
- 企業への協力要請
- 収穫祭
- 里山文化の育成
- 農業の法人化、企業参入
- 自然の保全地域の指定

成果

- エネルギーの自給力
- 自然豊かなまち
- 食の自給力
- 災害防止
- 地域交流
- 人づくり

長期的な取り組み

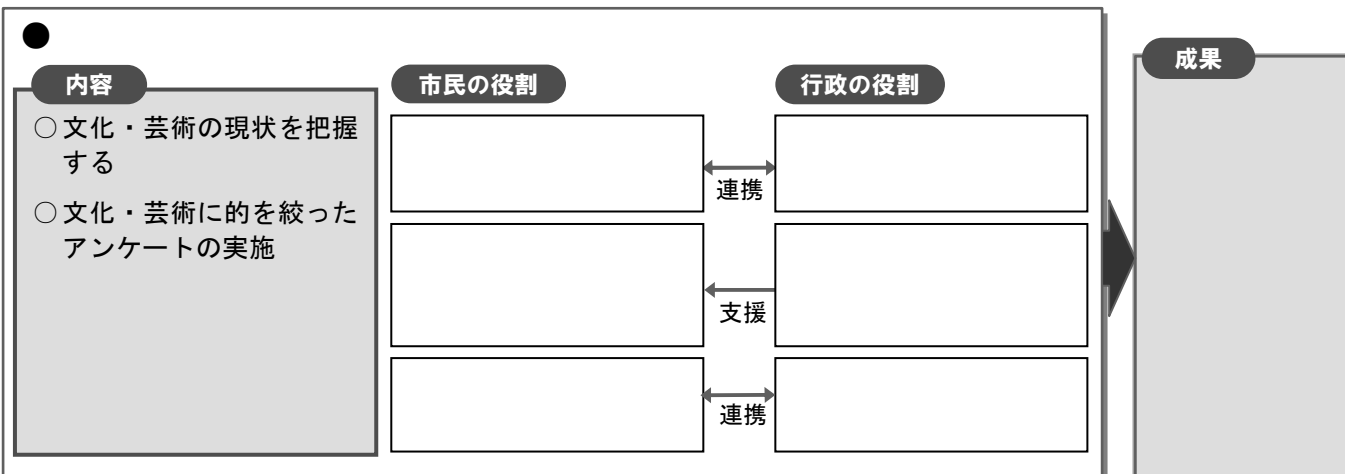
8

プロジェクト名（検討中）

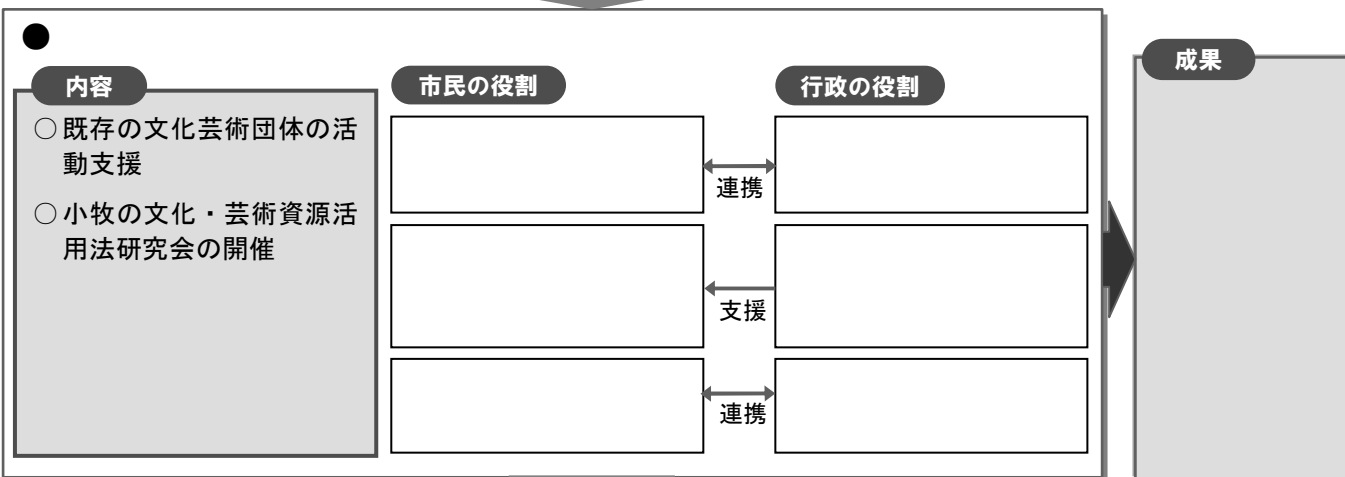
<目的>

<実施体制のイメージ>

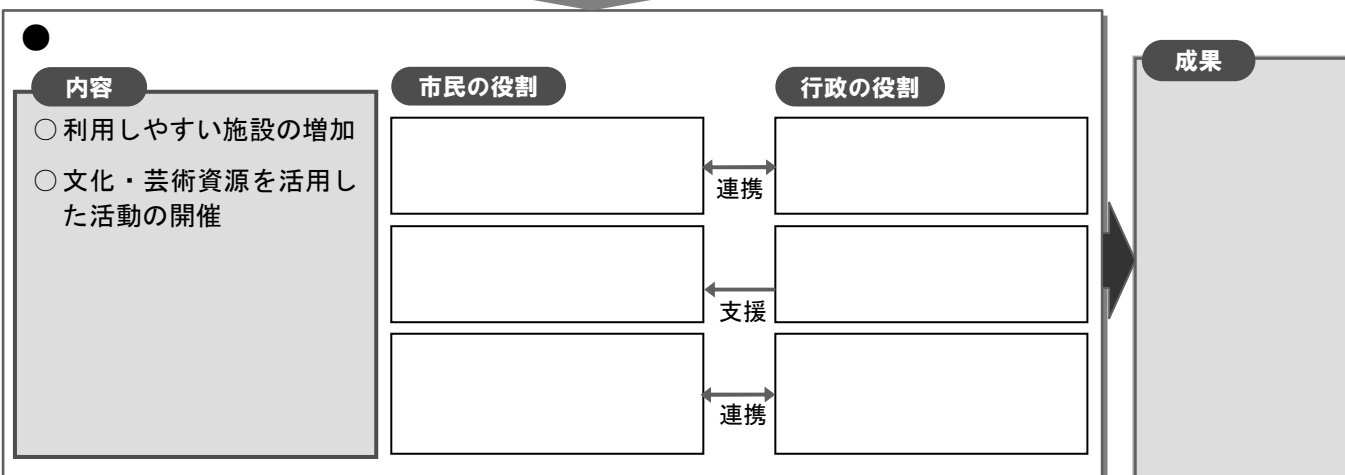
すぐに取り組みたい



次の取り組み



長期的な取り組み



9 小牧は一つ 地球家族プロジェクト

<目的>

<実施体制のイメージ>

すぐできること

内容

- 在住外国人が何故増えているのか、多文化共生とは何かをまず市民が知る
- 将来の多文化共生地域リーダー候補を見つける

市民の役割

行政の役割

連携

支援

連携

成果

次の取り組み

内容

- 多文化共生研究会の実施（市、区長、有志、企業）
- 外国人との交流会の実施
- 多文化共生リーダー（日本人、外国人）会の実施
- 多文化推進員の設置

市民の役割

行政の役割

連携

支援

連携

成果

長期的な取り組み

内容

- 外国人にスポットをあてた各種イベントの実施
- 住民（日本人、外国人）・企業・行政の役割の明確化
- 外国人代表によるネットワーク構築

市民の役割

行政の役割

連携

支援

連携

成果

■検討成果の中間まとめ

グループのテーマ	課題
<p>人を大切にする まちづくり</p>	<p>(キーワード)</p> <ul style="list-style-type: none">○ 市民活動○ 3 あい○ 教育○ 施設○ 福祉○ 病院
<p>自慢できる わがまち小牧</p>	<ul style="list-style-type: none">◆ コミュニティ道路◆ 歩道車道分離◆ 交差点、交通安全装置◆ (生活道路の)新設、拡幅◆ 運行経路見直し、増設◆ 東西路線の新設◆ (歴史や街並みを)活かした街づくり◆ 地産地消◆ 人材育成
<p>地域力の活性化で 安全・安心と環境を守るま ちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none">◆ 町内会活発化◆ 地元でのお金を消費する◆ 公共施設の活用◆ 農業の活性化◆ ゴミの分別の更なる充実◆ 自然の保全◆ 市民の防犯組織拡充◆ 自主防災の活動啓発◆ 防災・防犯の市民啓発◆ 医療の質の更なる向上◆ 生活道路充実、歩道・信号機設置◆ 子育て支援強化◆ 高齢者支援強化
<p>文化・芸術の 薫るまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none">◆ 自然や史跡が活かされていない◆ 施設はあるが利用しづらい◆ 文化事業は活発であるが、PR 不足で十分理解されていない◆ 多文化共生に対する意識低い◆ 小牧の文化を活かす方針がなく方向が定まっていない

※グループテーマにあわせて、少し移動しています。

解決策のアイデア

【 】は移動前

プロジェクト案

- みんなが気軽に出かけられるまちにしよう
- 障害のある人も地域で安心して暮らせるような社会に
- ひとり暮らし高齢者の孤独死を防ぐ
- 公共施設の割引又は無料化、通院用タクシー割引券
- 高齢者や障害者よ、街へ出よ！パレードしてみませんか？

- ライフサポーター（地域生活おたすけマン）
- 福祉実践教室（障害があるって？ということ）
- 地区の会館に、インターネット端末を！
- 「市民葬」とは何か、知ってほしい！

① 障がい者・高齢者をひとりぼっちにしないプロジェクト

- 規律ある学校づくり
- 人を大切にす、人育て
- 外国籍の子どもに学習の場を！
- 校則の見直しと厳守の姿勢を
- 地域3 あい事業の充実・発展
- 次世代を育む地域コミュニティ連絡会の設置

- 小牧版「子ども憲章」の制定
- 地域における児童育成団体を作る【B】
- 人づくり【C】
- 人を大切にするまちづくり
- 不妊治療の補助
- 医療費の見なおし

② 次世代育成プロジェクト

- 人気ある店舗の誘致
- 一里塚プロジェクト —巨樹のまち小牧へ50年構想
- 市民カフェ、広場、図書館、会議室
- エコマネーの導入、商店街の差別化、地産地消
- イベントによる商業の活性化（ラピオ周辺）
- 小牧駅西をどうにかする
- 駅西に「文化芸術会館を建設」（文化フォーラムの組成）
- 小牧駅前開発促進と活性化
- 市民会館の改修工事

- 中心市街地の活性化【C】
- まちの地域特性づくり【C】
- こまきマナーの創設【C】
- 公共施設の活用【C】

③ 中心市街地活性化プロジェクト

- 交通網のループ状整備と商店街の集中
- 「だれどこバス」～路線の中での自由な乗降、自転車の同乗～
- 巡回バスの「路線変更と増発」
- 東西方向の電車路線の新設
- 歩車道分離帯道路等、工事の推進

④ 交通問題改善プロジェクト

- 安心安全なまちづくり
- 安心して暮らせる地域づくり
- 各区自主防災会(129)・婦人消防クラブ(86)団体の啓発活動実施
- 犯罪多発都市小牧市の汚名返上【D】
- 危険な通学路(県道)にボタン式信号機の100%設置

- ごみの無いきれいなまち
- ごみのないきれいな街
- 地域発電（エネルギーの自給力）
- 農業の活性化（食の自給力）
- 農地再生で食糧自給率（現在 39%）を高める
- 農業の活性化【A】

⑤ だれもが安心して暮らせるまちづくりプロジェクト

- 行政の少数精鋭化と地区機能の充実と連携
- 全市 125 区の格差のない活性化
- 町内会の活用
- (行政と市民のパイプ役)区長制度の見直し
- 元気な高齢者、退職者の活用
- あいさつのある明るいまちづくり
- 議員定数の減少【A】

⑥ 町内会立て直しプロジェクト

⑦ 環境を守る美しいまちづくりプロジェクト

- 小牧独自の(小牧らしい)文化芸術イベントの検討
- 文化事業は活発であるが、PR不足で十分理解されていない
- 方向が定まっていない(やりっぱなし)
- 小牧山の歴史シンポジウム
- 文化財めぐりウォーキング大会
- 小牧の文化を訪ねる巡回バスツアー
- 史跡・文化財など文化振興政策の強化推進【B】
- 自然及び歴史的な遺物・史跡の活用
- 文化芸術の振興状況検討会議の実施
- 文化・芸術団体を支援する仕組みの構築
- 名古屋造形芸術大学との連携(協働)
- メナード美術館との連携(協働)
- 真の文化薫るまちを目指して
- 小牧の素晴らしさを伝えよう!
- 新しい図書館について考えよう!

- 多文化共生に対する意識が低い
- 外国人による料理教室
- 多文化共生セミナー・研究会の実施
- 外国人も含めた住みよい暮らしの実現
- ネットワークの設定(小牧在住外国人のサポート)
- 区長セミナー・区長研究会の実施
- 地域デビューを支援する仕組みづくり

⑧ (仮) 小牧市民全員で文化伝承プロジェクト

⑨ 小牧は一つ 地球家族プロジェクト